

## 令和5年度第2回津島市総合教育会議 議事録

### 1. 日時

令和6年2月6日（火） 午後2時00分から午後3時15分まで

### 2. 場所

津島市役所 3階市長公室

### 3. 出席者

構成員：日比市長、浅井教育長、小出委員、猪飼委員、奥村委員、畑中委員

事務局：市長公室長、教育委員会事務局長、教育委員会事務局次長兼官民連携スポーツ担当課長、企画政策課長、学校教育課長、指導主事、社会教育課長、担当職員2人

傍聴者：0人

### 4. 議事

①令和6年度予算における主な事業について

②学校施設長寿命化計画について

### 5. 会議内容

#### 1) あいさつ

（日比市長）

- ・本年は元日に令和6年能登半島地震が発生した。当市では各家庭で防災・減災について話し合う機会として、毎月第3日曜日を「家庭防災の日」と定めている。地震発生時は孫と過ごしていたが、幼稚園で定期的に防災訓練を行っているため、咄嗟の揺れにも慌てることなく、すぐに自身の身を守る行動を取ることができており、今回の震災を経て、防災教育や防災訓練の重要性を改めて強く感じた。この経験を教訓とし、追加で防災関連事業の予算を組み込むこととした。
- ・昨年8月に開催した前回の会議では、「領事館プロジェクト（国際理解教育事業）について」と「歴史・文化学習事業「祭りを学ぶ」について」の2件を議題として、貴重なご意見をいただいた。
- ・今回は、「令和6年度予算における主な事業について」と「学校施設長寿命化計画について」の2件を議題としている。いずれも当市が現在進めている教育施策に関連する内容となっている。

- ・前回同様に、有意義な意見交換をしていきたい。

(浅井教育長)

- ・市長の挨拶にもあったとおり、今年は防災学習や防災教育について改めて考えさせられる正月となった。令和6年能登半島地震の被害の甚大さを目の当たりにし、地域の皆の命を守るために、より一層防災学習や防災教育に力を入れていく必要があると感じた。
- ・令和6年度予算は、昨年度に引き続き教育に対して手厚い予算にしていた。市長が掲げる「楽しくて役に立つ」、「誰一人取り残さない」、「キラリと光る」津島の教育を推進していきたい。
- ・3つの軸をもとに、防災学習やコミュニティ・スクール、領事館プロジェクト、T P P（津島プログラミングプロジェクト）、津島プライドを育てる郷土学習、津島の達人ジュニア歴史検定・歴史選手権等、様々な事業が展開されていく中で、今回の震災によって、自分の命を自分で守る防災学習の原点に立ち返ることができた。
- ・本日の会議での意見を市の教育施策に活かしていくため、教育委員を始め、様々な視点から示唆していただきたいと思っている。2つの議題について忌憚のない意見をお願いしたい。

## 2) 議題1 令和6年度予算における主な事業について

(日比市長)

- ・令和6年度予算における主な事業について事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・教育委員会に係る予算については、事務事業費 21 億 3,557 万円で、対前年度比 85.9%となっている。
- ・学校教育課所管に係る予算は、12 億 3,967 万 6 千円で、全体として、対前年度比 71.6%、4 億 8,994 万円の減額となっている。
- ・学校教育指導費 3,924 万円のうち、学校教育指導事業として 2,605 万 5 千円を予算計上した。
- ・デジタル田園都市国家構想推進事業の3か年計画に基づき、プログラミング教育の集大成として学校間を越えてプログラミング力を披露し合う T P P（津島プログラミングプロジェクト）コンテストの開催が予定されており、市内全小中学校が参加する予定である。
- ・大会に関連して、プログラミング授業を進める中で、大学教授に授業や大会に対する指導助言をいただき取組の向上に繋げるための報償費 14 万 7 千円、

外部講師によるプログラミング教室実施のための委託料 292 万 2 千円、プログラミング大会用競技コースシートとして 21 万 6 千円を予算計上した。

- ・地域学校協働本部事業補助金 162 万円は、市内全小中学校に設置されているコミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体的に推進を進めるために補助を行うものである。
- ・小中学校教育指導事業 232 万 9 千円は、児童・生徒の不登校対策として設置している教育支援センターの関連費用である。学校へ行くことはできるが教室に入ることが難しい児童・生徒の居場所として、校内教育支援センター「ほっとルーム」を、従来の神守中学校、藤浪中学校に加え、来年度新たに天王中学校と暁中学校に設置することを予定しており、不登校対策の取組を推進していくため、市内の 4 中学校すべての設置に向け、器具購入費 184 万 1 千円を予算計上した。
- ・国際理解教育事業 759 万 6 千円は、JETプログラム事業、領事館交流プロジェクト事業の関連経費となる。領事館交流プロジェクトについては、昨年度から拡充して取り組んでいる、愛知県内の 8 つの領事館と市内 8 小学校との交流事業で、来年度も引き続き実施していく。
- ・学校保健給食費については 4,076 万 2 千円を予算計上しており、そのうちの新規事業として、来年度、医療的ケアが必要な児童が新 1 年生として小学校へ入学してくるにあたり、訪問看護委託料 367 万 3 千円を計上している。市民病院の訪問看護ステーションにお願いし、給食提供前に医療行為をしていただく予定となっている。
- ・学校施設を維持管理していくための小学校の学校管理費として、4 億 249 万 3 千円を予算計上した。
- ・主な事業として小学校の学校施設長寿命化事業があり、今年度改訂となる学校施設長寿命化計画に基づき、児童・生徒が安心・安全に快適な環境で学校生活を送れるよう、神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事、高台寺小学校の屋内運動場長寿命化改修工事实施設計を行う予定である。
- ・神島田小学校については、長年、体育館外壁や建具周りから雨水が侵入し学校生活に影響のあった部分の防水対策を行うための工事に合わせ、床、内壁、暗幕、カーテンレール等経年劣化しているものを改修するため、神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事監理委託料 429 万円及び神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事 1 億 2,708 万 3 千円を予算計上した。
- ・高台寺小学校については、令和 7 年度の長寿命化改修工事に向けた実施設計を行う。神島田小学校と同様、雨漏り等による学校生活への影響が深刻な状況であるため、全面改修を行う予定である。

- ・西小学校及び神守小学校消火設備等改修工事 1,628 万円については、学校施設長寿命化計画に基づき、消火用ポンプの取り換えを行う施設整備工事に要する経費である。
- ・その他に、神島田小学校用地購入費 980 万 6 千円と、小学校木製製品充実化事業として、北小学校木製ロッカー整備 590 万 7 千円、通話録音装置 145 万 5 千円、学級増に伴う器具購入費（南・蛭間小学校）308 万 7 千円を予算計上した。
- ・小学校の教育振興費 6,308 万 8 千円については、前年度から 2,777 万 4 千円増額となっている。
- ・来年度は 4 年に 1 度の小学校教科書改訂が行われるため、教師用の指導書や教材購入費用等として 3,398 万 2 千円を予算計上した。
- ・主な事業として、経済的な理由によって就学困難な児童・生徒または就学予定者の保護者に対し、小中学校に係る費用の一部について援助する就学援助費の拡充がある。来年度より、就学援助費の認定基準を生活保護基準の 1.0 倍から 1.3 倍に引き下げ、より多くの方が受給できるようにするとともに、援助項目に校外活動費（宿泊を伴うもの、宿泊を伴わないもの）を加え、就学援助費の充実を図ることで子育て支援を行うものであり、就学援助費用として 928 万 8 千円を予算計上した。
- ・学校施設を維持管理していくための中学校の学校管理費として、1 億 5,642 万 7 千円を予算計上した。
- ・新規事業として、学校施設長寿命化計画に基づき、天王中学校において、夏の熱中症対策を含め、自転車通学可能な生徒を全校生徒の 7 割を目指し、150 台分の自転車置き場を新設するため、天王中学校駐輪場新築工事 3,537 万 6 千円を予算計上した。また、小学校と同様、中学校の電話対応の品質向上のため通話録音装置 72 万 7 千円を計上し、天王中学校の校内電話についても来年度に設置を予定している。
- ・中学校の教育振興費については 3,985 万 4 千円を予算計上しており、小学校と同様に、就学援助事業の拡大を予定している。
- ・学校給食共同調理場費については 4 億 9,485 万円を予算計上した。新規事業として、厨房機器修繕分 429 万 7 千円、津島高校の中高一貫校が令和 7 年 4 月から始まるにあたり、新設される津島中学校用に、令和 6 年度中に食缶や食器等を購入する費用 494 万 6 千円を計上している。
- ・小中学校の給食費について、子育て支援施策として、市立小中学校の給食費の完全無償化事業を実施する。県内でトップクラスの取組であり、子育て支援とエネルギー価格・食料品価格等の物価高騰による保護者の経済的負担軽

減を図るため、令和5年7月からの完全無償化に引き続き、令和6年4月から令和7年3月分についても、小中学校給食費の完全無償化を実施する。

(社会教育課長)

- ・社会教育課所管に係る予算は、4億2,647万2千円で、令和5年度と比較して、9,942万7千円の増額、前年度比30.4%の増額である。
- ・社会教育総務費7,651万5千円は、令和5年度と比較して27.5%増で、社会教育・文化振興事業を始め2事業及び事務管理経費に加え、横井照子生誕100年記念事業、文化財保存活用地域計画策定事業の2つの新規事業に必要な事業費を予算計上した。
- ・社会教育・文化振興事業は、市民大学講座等の生涯学習事業、文化祭美術展・芸能交流会等の文化振興事業のほか、はたちの集いを始め青少年関連事業等に296万6千円を予算計上した。
- ・文化財保護事務は、堀田家住宅や氷室作太夫家住居の管理費のほか、市内の指定文化財に対する補助金を始め文化財保護に関する事務費として、3,676万8千円を予算計上した。
- ・新規事業として、堀田家住宅東蔵漆喰修繕料27万8千円、氷室作太夫家住居内部補強修繕料430万1千円、氷室作太夫家住居保存活用計画策定委託料460万2千円を予算計上した。
- ・放課後子ども教室推進事業は、2,133万1千円を予算計上した。新型コロナウイルス感染症が流行する前の実施状況に戻して放課後子ども教室を実施する予定としている。
- ・新規事業の横井照子生誕100年記念事業は、本市出身の国際的な画家 横井照子の生誕100年を記念し、横井照子展、子どもたちを対象とした芸術・美術に親しむことができるワークショップ等の事業費として164万3千円を予算計上した。
- ・文化財保存活用地域計画策定事業は、当市に所在する未指定を含めた多様な文化財の総合的な保存・活用に関するマスタープラン、アクションプランを策定するもので、令和6年度から8年度までの3か年で取り組む予定であり、来年度の事業費として981万円を予算計上した。
- ・事務管理経費399万7千円は親愛集会所、永楽集会所の指定管理委託料181万7千円、津島市PTA連合会運営助成金52万6千円等、社会教育関係団体への補助金のほか、必要な経費を予算計上した。
- ・図書館費1億1,591万9千円は令和5年度と比較して5%増となっている。
- ・主なものは、指定管理委託料9,083万6千円、電子図書館システム使用料66万円、図書購入費1,017万5千円のほか、雑誌や児童図書を消耗品費として

予算計上した。このうち、電子図書館に係る経費は、システム使用料 66 万円、電子図書購入費 250 万 3 千円である。

- ・公民館費 364 万 2 千円は、公民館教室・講座の開催に伴う講師謝礼 54 万円のほか、施設の維持管理費用である。
- ・生涯学習センター費は、施設の維持管理、整備及び運営費用に、1 億 145 万 2 千円を予算計上しており、令和 5 年度と比較して 5,565 万 5 千円の増額、前年度比 121.5%の増額である。
- ・新規事業として、屋外トイレ修繕料 98 万 2 千円、高圧受変電設備改修工事実施設計委託料 425 万 7 千円、スポーツ環境を整備するため、屋外運動場整備工事 2,273 万 2 千円、オムニコート全面改修工事 1,986 万 6 千円、体育室の熱中症対策としてスポットエアコン購入費 1,331 万円を予算計上した。

(教育委員会事務局次長兼官民連携スポーツ担当課長)

- ・保健体育総務費 2,778 万 6 千円については、各種スポーツ大会やスポーツ教室の実施に必要な事業費として各種大会等運営事業 698 万 5 千円を、事務管理経費 2,080 万 1 千円を予算計上した。
- ・事務管理経費における主なものとして、スポーツ協会補助金 962 万 3 千円、スポーツ少年団補助金 26 万円等、スポーツ団体への補助金等スポーツ振興に係る経費のほか、令和 5 年度からの継続事業として、スポーツ推進計画策定委託料 546 万 7 千円、新規事業として、スポーツ施設整備推進アドバイザー委託料 348 万 7 千円、スポーツによるまちづくり施策に関するコンサルティング委託料 50 万 6 千円を予算計上した。
- ・体育施設費は 1 億 115 万 8 千円を予算計上しており、主なものとして、教育・体育施設及び都市公園指定管理委託料 8,300 万円、新規事業として、錬成館の高圧受変電設備改修工事実施設計委託料 383 万 9 千円、熱中症対策のため葉苺スポーツの家スポットエアコン購入費 1,193 万 5 千円を計上した。

(奥村委員)

- ・学校施設長寿命化計画による大幅な改修や給食費の無償化事業等、幅広く予算計上されている一方で、全体の予算は削減されており、資料から市の努力を感じる。
- ・社会教育課所管の予算については増額されており、文化財の保護を始め、力を注いでいくとのことなので、より一層市民の関心を深めていけるよう進めていただきたい。

(畑中委員)

- ・新規事業がこれまでと比較して増えている中で、全体としての予算は削減さ

れていることは素晴らしい。

- ・スポーツ振興においては、東公園の再開発によって、今の風景がどのように変わっていくのか期待している。

(猪飼委員)

- ・学校施設に関しては、経年劣化に伴い目に見えて悪くなっている部分があり、本来は悪くなる前に早期に実施すべきものであると感じている。学校生活を送る子どもたちが快適に過ごせるよう、来年度以降改修を進めていただきたい。
- ・T P P（津島プログラミングプロジェクト）等、新たな事業について先進的に取り組んでいると感じる。今後も引き続き、積極的に進めていただきたい。
- ・スポーツ振興については、長期に渡るプロジェクトだと思うが、予算を上手に活用しながら進めていただきたい。

(小出委員)

- ・学校訪問で各学校を訪問した際、事務局の担当者が校内を隅々まで巡回している様子を見る。予算資料を作成する際に、巡回で気づいたことを進言しているのだと思われるが、その結果が来年度の予算に反映されていることが説明を聞いてわかった。
- ・現場の声をできる限り拾い上げ、予算へと反映させていく姿勢が見られ、そういった姿勢は、現場で働く先生や児童・生徒の保護者からも喜びの声が多く上がると思う。教育現場を取り巻く様々な問題に対して、早期にアクションを起こしていく姿勢が学校や保護者からの理解を得ていく上で大切だと思う。
- ・予算を上手く活用しながら、市民に積極的にPRをしていただきたい。

(浅井教育長)

- ・今年度は神守中学校と蛭間小学校の体育館改修が行われ、学校からも喜びの声が上がっている。来年度は神島田小学校の体育館改修や天王中学校の駐輪場の新築工事も控え、市内の小中学校の大改修がスタートした。これまで手が付けられなかったところを進めていただき感謝している。
- ・T P P（津島プログラミングプロジェクト）や、領事館プロジェクトを始め、学校運営協議会へ多額の予算を投じていただいております、市全体の教育の特徴が予算書によく表れていると感じる。
- ・T P P（津島プログラミングプロジェクト）はデジタル田園都市国家構想推進交付金の活用が始まり、来年度は総まとめの3年目に入るので、研究を深めるためにも積極的に進めていきたい。
- ・来年度は横井照子生誕100年記念事業という大きなプロジェクトが控えてい

る。文化振興に関しては、特に秋まつりの保護について地域から強く要望されている中で、来年度は秋祭調査委託料が予算計上されているため、秋まつりの保護・継承に向けてこれまで以上に真剣に向き合っていく必要がある。

- ・スポーツ振興に関しても計画策定等の様々な予算が計上されており、実りあるものとしていくために全力で取り組んでいきたい。
- ・学校教育、社会教育、社会体育、それぞれの分野力を合わせ、引き続き特色ある学校づくりに努めていきたい。

(日比市長)

- ・平成26年度から令和4年度末までの9年間、職員と市民の協力のもとで実施した行財政改革による効果額は91億3千万円に上り、令和4年度末時点において、借金に当たる臨時財政対策債を除いた市債残高は名古屋市を除く県内37市中33位、貯金に当たる財政調整基金の市民1人当たりの残高は名古屋市を除く県内37市中7位と、県内でもトップクラスの水準まで持てることができた。
- ・これまでは財源がないことで様々な事業を見送らざるを得ない状況だったが、行財政改革の実施により財政が健全化したため、様々な事業に投資することが可能となり、そのうちの1つとして学校施設長寿命化計画も進んでいる。
- ・令和6年能登半島地震による断水等の被害を目の当たりにし、「水」の大切さについて改めて思い知らされた。当市では、平成27年度より進めてきた耐震管の整備に加え、市内小中学校における耐震性貯水槽の設置を進めているところである。昨今の物価高騰により耐震性貯水槽も計画当初より価格が大幅に高騰しているが、緊急時の避難場所としての学校施設という側面も忘れてはならず、来年度には神守小学校と南小学校への設置を、令和7年度には西小学校と東小学校への設置を予定している。
- ・県内トップクラスの子育て支援施策について、来年度引き続き実施していく。令和5年7月からの完全無償化に引き続き、令和6年4月から令和7年3月分についても小中学校給食費の完全無償化を実施し、これにより児童・生徒1人当たり約4万5千円～4万7千円程度の負担軽減に繋がる。
- ・市内の小中学校の体育館へのスポットエアコンの設置も県内初の取組であるが、さらに葉苺スポーツの家と生涯学習センターの体育室への設置も新規で進めて行く。
- ・生涯学習センターのグラウンド、オムニコートを全面的に改修する。スポーツ推進計画について、新たに組織を作り、アドバイザー等を活用しながら次世代に繋がる計画を策定していく。
- ・堀田家住宅や氷室作太夫家住居を始めとする文化財について、国庫補助金等



を上手く活用しながら、祭りのみならず市内全域で暮らす人々の生活も含めた保存・活用を推進していく。

- ・プログラム教育に関連して、今後は生成A I 等も活かしながらビジュアルな事業を展開していけたらと模索している。児童・生徒自身が楽しみながら創り出していく手助けをし、津島の教育は面白いと言ってもらえるような未来を目指したい。

## 2) 議題2 学校施設長寿命化計画について

(日比市長)

- ・学校施設長寿命化計画について事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・本市の学校施設は1970年代から80年代にかけて集中的に整備されてきた。公共施設のおおよそが建築後30年ないし40年を経過する中で、学校施設においても全体的に老朽化や機能低下が進行している状況である。修繕や建替には多額の費用を要するため、学校施設の質的維持と財政支出の縮減・平準化を図ることを目的として学校施設長寿命化計画を策定する。
- ・計画期間は2019年度から2058年度とし、原則として5年ごとに計画の見直しを行うことを基本とする。平成31年3月に計画を策定したため、本年3月が改訂の時期である。
- ・小学校8校、中学校4校、学校給食共同調理場2施設を対象施設とし、学校プールや倉庫、機械室等の小規模な建築物については除く。
- ・学校施設の目指すべき姿としては、5年前の策定時と同様、「学習習慣の充実」、「生活空間の充実」、「地域との連携の充実」である。
- ・学校施設の実態について、築50年以上を経過したものが12棟あり、築40年以上を経過したものは31棟、それ以外のものが36棟であり、全体の半数以上の施設が築40年以上を経過している現状である。
- ・文部科学省が目安として示している築60年で建替を行う従来型の管理を行うと、今後40年間で総額498億円の費用が発生する見込みである。この負担の平準化等を図るべく、計画の策定を進めていく。
- ・平成31年3月に策定してからの5年間においては、平成31年(令和元)度の小中学校の空調整備や令和2年度及び令和3年度の小中学校トイレ改修、令和4年度の小中学校LED化と体育館用スポットエアコン整備、令和5年度の蛭間小学校及び神守中学校屋内運動場長寿命化改修等、喫緊の課題について実施した。神守中学校については2月20日(火)に、蛭間小学校につい

ては3月15日（金）に改修後の内覧会を行う予定である。

- ・現在の運営状況や活用状況を踏まえた今後の課題として、維持管理・改築費用の低減、年度別施設関連経費や改築時期の平準化、学校施設の活用が上げられている。
- ・学校施設整備の基本的な方針等については、5年前の策定時と同様である。基本的な考え方として、小中学校については地域コミュニティを維持するため、原則として現在の配置を維持する。
- ・改修等の基本的な方針として、中長期的な維持・改築等に係る費用の総費用の縮減と予算の平準化を実現するため、適切な時期に大規模改修や長寿命化改修を実施することを前提に、すべての建築物の目標耐用年数を80年以上とする。
- ・建築後80年以上使用することを目標として、大規模改修を建築後20年と長寿命化改修後20年、長寿命化改修を建築後40年で実施していくことを基本とする。
- ・基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等について、単に物理的な不具合を直すのみではなく、ライフラインの更新等により建物の耐久性を向上させるとともに、建物の機能や性能を確保する。
- ・今後の学校施設の改修等に関する優先順位の考え方について、建築年数が40年を超えて、劣化が進んでいる建物から順番に、長寿命化改修を実施する。長寿命化改修に当たっては、財政状況を勘案した上で、教育環境の改善や社会的ニーズへの対応を図った、施設の複合化を行う。費用の平準化も見据えて、同じ学校の複数の校舎で同時に改修や改築が行われないよう改築時期を調整していく。
- ・今後については、第1期から第4期まで、10年単位を基本とした年次計画である。
- ・長寿命化及び平準化によるコストの縮減効果について、従来型管理では今後40年間で498億円の試算であったが、長寿命化計画では今後40年間で総額約316億円となり、182億円の縮減が見込める。
- ・今後5年間の実施計画について、長寿命化改修が必要な施設のうち、高経年の施設から順次、長寿命化改修を進めるとともに、部材等の劣化が進んでいる施設の部位改修及び施設整備を実施する。
- ・来年度は神島田小学校屋内運動場の外壁の劣化対策を中心に大規模改修や天王中学校駐輪場新築工事、西小学校及び神守小学校の消防設備改修、北小学校の教室整備について実施する予定である。また、令和7年度の高台寺小学校屋内運動場の大規模改修実施に向け、来年度に工事設計を実施する。

- ・令和8年度には天王中学校中校舎、令和9年度には蛭間小学校東校舎、令和10年度には神守小学校西校舎の長寿命化改修を実施する計画である。
- ・長寿命化計画の継続的運用方針における情報基盤の整備・活用として、施設の状態や、過去の改修や交換履歴、事故や故障の発生状況等を一元管理し、推進体制等を整備していくため、関係部署との横断的な体制や、市民の意見を取り入れた事業推進を目指す。
- ・フォローアップとして、PDCAサイクルによる5年程度を目安とした計画の見直しを行う予定であり、次回の見直しは令和10年度を予定している。

(奥村委員)

- ・学校訪問を通じて、トイレや空調設備等、施設の目に見える場所が新しくなっていることを感じた。
- ・体育館も改修され、これまでより使いやすくなる。子どもたちがより充実した学校生活を送ることができるよう事業を進めて欲しい。
- ・少子化が進む中、既存の校舎のあり方についても検討が必要である。校舎の統合や活用方法等、長寿命化計画によって良い方向に進むことを期待している。

(畑中委員)

- ・学校訪問を通じて、改修されたトイレや新たな空調設備等について確認した。
- ・先週、藤浪中学校を訪問した際に、中庭の水はけが悪く長年困っていたとのことだったが、綺麗に整備されて利用している生徒や先生から喜びの声が上がっている。
- ・体育館については、災害時に重要な拠点となるため、長寿命化計画に基づき滞りなく進むことを期待する。

(猪飼委員)

- ・トイレ改修や空調整備、LED化等について、スピード感がありとても良い。体育館のスポットエアコンの整備に関しても、全国でも先駆けて実施しているとのこと素晴らしいと思う。
- ・長寿命化計画に関して、今後40年間で発生する費用について、いつ時点の試算かによって金額が大きく変わってくる。昨今の物価高騰の影響により建設費、解体費も大きく高騰しているため、将来、実際に実施することとなった際は、予算確保のためにも大鉈を振るう必要があることを覚悟しておかなければならないと感じる。

(小出委員)

- ・計画的に学校施設の長寿命化を進めていることがよくわかる資料である。将

来のことが具に記されており、各学校の展望がしっかりと確認できるため、学校側の協力や信頼も得られると思う。資料を上手く活用し、各学校の担当者への説明も丁寧に行っていただきたい。

- ・長寿命化の実施計画について、優先順位がしっかり明記されていることも良い。また、今後10年間に長寿命化改修を行わない施設の対応についても明記されているため、各学校も安心・納得の上、進められると思う。

(浅井教育長)

- ・トイレの様式化やLED化等、他の市町村に先立ってスピード感を持って実施できたことを感謝している。
- ・学校関係者にとって、今回の長寿命化計画のような長期に渡る大きな計画を示してもらえることはありがたい。
- ・今後も現場で働く先生の意見や要望も拾い上げ、各学校への説明も丁寧に行いながら、長寿命化計画に基づき改修等を進めていきたい。

(日比市長)

- ・長寿命化を計画的に実施していくことは大変重要なことである。
- ・耐震性貯水槽の設置に当たっても、一昨年は1億円で実施できたものが、今では1億7千万円の費用を要するとのことで、物価高騰の影響をひしひしと感じている。だからこそ、多額の費用が発生する学校施設の長寿命化についても計画的に進めることが大切である。長寿命化に係る改修等に要する費用について、限られた予算を計画的に充てていかななくてはならない。
- ・早期に取り掛かれれば費用も抑えられる。行財政改革によって財政に余裕が生まれた今、順序立てて計画的に改修を進めていきたい。

### 3) その他

(企画政策課長)

- ・総合教育会議は、例年、年2回程度開催している。次回の会議日程が決定次第、教育委員会を通じて連絡する。